

白板地区	令和元年度	推進交付金：600,000円
取組み1 住みよい町づくり協議会事業 白板地区住みよい町づくり協議会		推進交付金の活用 有

(1) 目的

住みよい町づくり協議会を開催し、子どもから大人まで安心していきいきと暮らすことのできる地域づくりを目指します。

(2) 取組み

ア 部会の開催

前年度に引き続き、3つの部会に分かれて課題を検討し、具体的な取組みにつなげました。6月から2月までに4回の部会を開催し、部会の後には情報共有のため全体での会議を行い、相互の協力体制を構築しました。

「防災隊」……防災意識の向上と災害時に助け合える体制づくりを進める。

「すこやか隊」…高齢者など困難を抱える方が安心して暮らせる支えあいの仕組みづくりに取り組む。

「つながり隊」…子どもの支援と住民同士の交流の充実をはかる。



イ 学習会の実施

委員の意識向上のため、部会の際に学習会を行いました。

(ア) 「地区生活支援員の役割について」 (6月)

講師：松本市高齢福祉課職員

(イ) 「要援護者の避難について」 (7月)

講師：須澤 博一 医師

(ウ) 「子どもの権利について」 (10月)

講師：松本市こども育成課職員

ウ 部会の企画による具体的な取組み

(ア) 100えんカフェの開催 (4月～3月)

- (f) やきいも大会に向けたサツマイモの栽培（5月～10月）
- (g) 買物支援事業をモデル町会で実施（10月）
- (h) 認知症サポーター養成講座の開催（11月）
講師：中央地域包括支援センター職員



- (i) 子どもの見守り活動試行（12月～3月）

田川小学校、開智小学校、丸ノ内中学校の下校時に通学路に立って見守りを行いました。

- (j) その他の取組み

- ・雪かき支援の啓発チラシ回覧
- ・交流事業（運動会等）への支援
- ・年間カレンダーの作成



エ 会報の発行

協議会の活動を広く地区住民に知らせるため、公民館と福祉ひろばの便りに一元化し、協議会と地区内の情報も掲載する「白板地区だより」を毎月発行しました。



- (3) 今後の展開

各部会で検討された課題解決に向けて取り組みます。

また、部会には委員以外の参加者も募っていることから、多くの方の興味関心を喚起できるよう、広報の充実に努めます。

取組み2 地域の防災体制整備事業

推進交付金の活用

白板地区住みよい町づくり協議会

有

(1) 目的

地区内の防災体制を整備し、災害発生時にお互いに助け合える地域づくりを進めます。

(2) 取組み

ア 部会の一つである防災隊において、備蓄品や災害時の対応策を検討しました。

イ 防災出前講座の案内と実施

各町会へ出向く防災出前講座を企画し、全戸に情報提供しました。

ウ 防災講演会の開催

地区住民の防災意識向上のため、防災講演会を開催しました。

(11月)

講師：NPO 法人さくらネット代表 石井 布紀子 氏

演題：「命を守る支えあいの仕組みづくり」



エ 災害時や避難訓練等の際に使用する炊出し用の大釜を整備しました。

オ 防災マップの作成と見直し

災害時の一時集合場所や要援護者宅を明記するなどして作成した、各町会の防災マップを見直すとともに、未作成の3町会のうち1町会が完成させました。

(3) 今後の展開

防災には住民同士の日頃のコミュニケーションが重要であることを、研修会等を通してさらに理解してもらえるよう取り組みます。

防災マップが未完成の町会については作成を急ぐとともに、毎年内容を見直すことにより、災害時の迅速な対応につなげます。